

平成 26 年度決算について

平成 26 年度の決算につきまして、第 43 回組合会にて議決されましたので、下記の通りご報告致します。

記

(1) 健康保険

平成 26 年度の健康保険は、約 909 億円の収入に対し、約 885 億円の支出で、約 24 億円の黒字決算となりました。収入は、保険料率の引き上げにより保険料収入が増加し、前年度実績より約 78 億円増加しました。一方、支出は、納付金等の負担増（+約 35 億）が大きかったものの、保険給付費の伸びが想定より小さかったため、全体の支出として前年度実績より約 44 億円の増加となりました。なお、段階的な全面総報酬割の導入等により、納付金等の負担額は今後も増加していく見込みであることから、収支の改善が今後も継続するかは不透明です。

(2) 介護保険

平成 26 年度の介護保険は、約 73 億円の収入に対し、約 75 億円の支出で、繰越金を除いた単年度収支は、約 2 億円の赤字となりました。収入は、保険料率の引き上げにより保険料収入が増加し、前年度実績約 10 億円増加しました。一方、支出は国全体の介護給付費に充てられる 1 人あたり負担額が増加したため、納付金が前年度実績より約 2 億円増加しました。なお、平成 27 年度は介護報酬の減額改定があり、納付金は若干減ることとなりますが、近い将来に介護保険料の制度改正が行われる可能性もあり、収支の見通しについては、今後も予断を許しません。

以上